

令和3年度 事業報告

幸区社会福祉協議会

目 次

	頁
重点事業	1
1 幸区社会福祉協議会運営事業	2
2 調査・研究事業	2
3 研修事業	2
4 企画・広報事業	2
5 地域福祉活動事業	3
6 団体等助成事業	4
7 共同募金事業	4
8 福祉パル管理運営事業	5
9 生活福祉資金貸付事業	5
10 ボランティア活動振興事業	5
11 幸区あんしんセンター事業	6
12 老人いこいの家運営等事業	6
13 公益事業	6
14 災害活動関連事業	6
15 団体事務	7
16 その他(老人福祉センター(さいわい健康福祉プラザ)運営事業)	7

令和3年度 事業報告

◆重点事業◆

1 「第5期幸区地域福祉活動計画」に沿った事業の実施

令和3年度から3年間の計画期間、初年度の取り組みとなりました。一部、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止した事業もありましたが、感染症予防対策を徹底し、内容等を都度協議・検討しながら事業を実施しました。

2 住民交流活動拠点の円滑な運営

区内3か所で展開している「陽だまり」の運営を行いました。運営委員会と協議し、感染症予防対策を徹底しました。幅広い世代に利用してもらうための広報を兼ねたイベントや、講座等は、感染予防の観点から実施できませんでした。

3 福祉教育への取り組み強化

学校の総合的な時間に、講師として参加したほか、講師派遣の調整をしました。感染症予防対策のため、地区社協、地区民協等、地域の方一緒に行くことはできませんでした。

疑似体験グッズの貸し出しや団体の紹介等を通して福祉の理解につながるよう努めました。

4 総合相談事業の実施体制の整備

老人いこいの家や、陽だまり等の地域拠点も含め、住民から寄せられる様々な相談をしっかりと受け止め、関係機関等と連携し解決につなげられるように努めました。

地域の大学生を対象とした食糧支援は、地元地域と連携して行いました。

5 安定財源確保と啓発強化

広報紙による寄附の呼びかけを行いました。社協活動の啓発については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、社会福祉大会、幸区民祭が中止となりましたが、作品展示を中心に行ったプラザ祭りで、活動を紹介し啓発活動を行いました。

事業報告の内容

幸区社会福祉協議会 事業費【48,589千円】

【サービス区分事業活動支出 33,562千円】

【共同募金配分金 15,027千円】

1 幸区社会福祉協議会運営事業

(1) 常任委員会、運営協議会の開催

ア 常任委員会の開催 4回（5月25日、6月1日、10月1日※書面決議、
2月25日）

イ 運営協議会の開催 1回（2月9日）

(2) 会員や賛助会員の増強 令和3年度入会会員

ア 正会員 22

イ 賛助会員 4,827

	R3実績	R2実績
正会員数	113	94
賛助会員数	4,827	4,261

(3) 自主財源の確保

寄附金品の受入れ（寄附金 延14件 113,212円／寄附品 延6件）

(4) 社会福祉士相談援助実習の受け入れ

新型コロナウイルス感染症の影響で中止

2 調査・研究事業

(1) 「第5期地域福祉活動計画」に沿った取り組みの実施

総合相談事業からつながった学生向けの食糧支援の実施 2回（12月20日、
12月28日 22件/窓口での対応17件）

(2) 安定した事業運営のための財源確保及び組織体制の検討

地区社協連絡会において、助成金の積算方法等の検討、協議を実施 3回（4月
28日、6月25日、12月13日）

3 研修事業

(1) 常任委員会委員及び運営協議会委員研修会の開催

ア 常任委員会を対象とした研修会の開催 1回（3月25日）

4 企画・広報事業

(1) 川崎市幸区社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止したが、区社協研修室におい

て、会長表彰・感謝の表彰式を実施。受賞者に対して区社協会長から表彰状を授与。

(2) 充実した福祉情報を発信するための機関紙「幸区の社会福祉」の発行

ア 機関紙「幸区の社会福祉」 年4回、各26,000部発行
回覧または全戸配付

(3) 情報紙「幸区社協通信」の発行

ア 情報紙「幸区社協通信」の発行 月1回、550部発行

(4) ホームページを活用した地域活動紹介と啓発活動の推進

ア ホームページでの情報発信
幸区社会福祉協議会 ホームページ (<http://www.saiwaiku-shakyo.jp/>)

5 地域福祉活動事業

(1) 地区社協との連携

地区社協の定例会等に地域担当職員が出席し情報の共有を図った。また、活動への協力、支援を行った。

(2) 子育て支援事業や会食会等への支援

地区社協等が実施している事業に対し共同募金を財源とした支援を実施。

(3) 地区社協連絡会議の開催

地区社協会長連絡会 3回（4月28日、6月25日、12月13日）

(4) 住民活動交流拠点（陽だまり3か所）の運営

小倉の駅舎陽だまり、塚越の陽だまり、河原町の陽だまりの3か所について、各運営委員会と協力し運営。

(5) 総合相談事業の体制整備

老人いこいの家や陽だまり等の拠点において、利用者からの相談の聞き取りと関係機関等の情報を提供。

(6) 相談を通じた住民の福祉ニーズの把握

年間総相談件数 1,601件

(7) 移送サービス事業の実施

登録会員 6名 年間利用件数 87件 登録ボランティア 19名

(8) 車いすの貸出

区民への車いす無料貸出 165件

(9) 高齢者疑似体験グッズ等の福祉用具の貸し出し

ア 小学校への貸し出し 7校

イ その他地域団体への貸し出し 1件

(10) 福祉用具のリサイクル

ア 譲りたい要望 4件

イ 譲ってほしい要望 1件

ウ 譲渡成立件数 1件

(11) 障害者関係等団体との協働

幸区精神保健福祉連絡会に参画し冊子作成に協力

(1 2) 子育て支援に関する啓発

- ア 広報紙等による子育て支援に関する情報提供に協力
- イ 幸区こども総合支援ネットワーク会議に参画しこども情報ネットさいわいの編集、発行に協力（43号、44号、45号を発行）

(1 3) 「みんなで子育てフェアさいわい」への参加・協力

- ア 部会出席 4回（6月30日、8月3日、9月8日、2月9日※書面開催）
- イ みんなで子育てフェアさいわい
新型コロナウイルス感染症感染拡大のため開催中止

(1 4) プラザ祭りの開催

幸区民祭は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止となったが、健康福祉プラザにおいて、老人福祉センター、こども文化センターと協働でプラザ祭りを実施。共催団体の作品や活動紹介を展示。

6 団体等助成事業

(1) 地区社会福祉協議会への助成

地域福祉活動費 計5,814,800円

(2) 共同募金を原資とした助成

会食・配食・ミニデイ実施団体助成 1団体 計80,000円

子育て支援事業実施団体助成 7団体 計350,000円

当事者団体活動助成 2団体 62,000円

ボランティアグループ活動助成 10団体 335,000円

(3) 幸区民生委員児童委員協議会への助成

幸区民児協育成費 計160,000円

(4) 社会を明るくする運動等への助成

社会を明るくする運動 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

リレーカーニバル ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

幸区民祭協賛 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

(5) 高齢者ふれあい活動実施団体への助成

ア 会食活動に助成 22団体 計 1,891,000円

イ 配食活動に助成 1団体 計 210,000円

ウ ミニデイサービス活動に助成 3団体 計 195,000円

7 共同募金事業

(1) 福祉ニーズを持つ世帯への年末慰問金品配分事業

年末慰問金配布 351世帯・計1,755,000円

年末慰問品配布（お茶） 2,670世帯・計1,672,488円

8 福祉パル管理運営事業

- (1) 研修室およびボランティアコーナーの貸出し
研修室 306件、ボランティアコーナー 179件
- (2) 地域福祉活動に必要な印刷機等の機材、機器の貸出し
- (3) 情報コーナーの設置によるチラシ・ポスター等の掲示

9 生活福祉資金貸付事業

- (1) 生活福祉資金貸付事業
 - ア 区内貸付決定件数 8件
 - イ 区内特例貸付申請件数 1,759件

10 ボランティア活動振興事業

- (1) ボランティアセンター運営委員会の開催
運営委員会 2回(5月21日、2月17日)
- (2) ボランティア依頼および活動希望の相談・調整
 - ア ボランティア活動希望への相談・情報提供 37件(令和2年度 25件)
 - イ ボランティア募集の依頼 22件(令和2年度 16件)
 - ウ ボランティアによる支援 2件(令和2年度 11件)
- (3) 各種講座・セミナーの開催
 - ア ボランティア講座の開催
 - (ア) チャレボラ2021(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止)
※各区主催行事としてできるものは実施
「公園で遊び場づくりのお手伝い&子どもたちと交流しよう」(7月28日)参加者3名
「地域子育て支援センターさいわいのお手伝い&乳幼児と交流」(12月16日)参加者1名
 - (イ) 「Zoomホスト初挑戦!!」(6月30日)参加者31名
 - (ウ) 「コロナに罹ったお医者さんのお話」(11月19日)参加者30名
 - イ ボランティア活動パワーアップセミナーの開催
 - (ア) 移送ボランティアフォローアップ研修(1月29日、2月1日 ※同一内容)
参加者13名
 - (イ) 移送ボランティア交流会(1月29日、2月1日)参加者12名
 - (ウ) ボランティア交流会(3月12日)参加者22名
- (4) 福祉教育の推進
 - ア 福祉教育に関する相談 9件(小学校 8件、地域団体 1件)

1.1 幸区あんしんセンター事業

援助が必要な高齢者や障害者が、地域の中で自立した生活を送ることができるよう、関係機関と密に連携を図りながら事業を実施した。

(1) 日常生活自立支援事業に関わる相談

相談件数 744件（初回相談50件、継続相談694件）

（※令和2年度相談件数 1,584件/初回相談65件、継続相談1,519件）

(2) 成年後見制度の概要や申立手続きに関わる相談

相談件数 162件（初回相談62件、継続相談100件）

1.2 老人いこいの家運営等事業

(1) 老人いこいの家の管理運営

総合相談窓口 利用者からの聞き取りにより助言や関係機関を案内。

適切な管理 不良個所の迅速な修繕、管理人による日常的な点検。緊急時対応マニュアル、土砂災害対応マニュアルの見直し。避難訓練の実施。各施設年2回。

教養講座 12講座 年223回開催

入浴事業 入浴事業実施回数 344回

老人いこいの家まつりの開催 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、まつりは中止。代替として作品展を開催（多世代・地域交流事業と同時開催）。

多世代・地域交流事業の実施 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、対面での交流事業は行わず、老人いこいの家利用者の作品とこども文化センターやわくわくプラザ、近隣保育園や小学校のこども達の作品と一緒に展示する作品展を開催（老人いこいの家まつり代替事業と同時開催）。

老人いこいの家運営委員会の開催 12回（8月20日、8月27日、8月30日、9月14日※2か所開催、9月15日、11月9日、11月25日、12月7日、12月14日、1月14日、1月17日）

1.3 公益事業

(1) 高齢者外出支援事業（高齢者フリーパス交付）の実施

販売実績 延べ4,893件

1.4 災害活動関連事業

(1) 災害時におけるボランティアセンターの役割について検討

1 5 団体事務

関係する団体の事務局として運営・活動の支援協力を行った。

(1) 神奈川県共同募金会幸区支会への協力

募金実績 一般募金 12,392,382円 達成率 77.7%

年末たすけあい募金 8,800,687円 達成率 81.5%

(2) 幸区民生委員児童委員協議会

幸区民児協の事務局として、研修会の開催やその他各種会議等に協力。

1 6 その他

(1) 川崎市社会福祉協議会の事業に協力

「老人福祉（・地域交流）センター」の指定管理運営事業について、市社協と区社協が協働、連携して適正な管理運営を実施。

年間利用者数 12,230名

相談事業 健康相談 月4回 内科医、整形外科医が交代で実施

生活相談 随時対応（看護師による健康相談・血圧測定実施）

講座 18講座実施

行事 踊ろう会、菖蒲湯、七夕飾り、コグニサイズ、敬老のつどい、プラザ祭り作品展、シニアの食とお口の健康のお話、ボッチャ体験会・交流会、折り紙で作る箸袋・ポチ袋、ハンドチャイム体験会、内科講演「コロナに打ち勝とう」、柚子湯、みんなでラジオ体操&脳トレ、スマホ・タブレットなんでも相談会、節分豆まき、利用者感謝デー